

ツツジに会えるとイイネ 横根山-古峰原

実施日 2016年6月4日(土)
 天候 晴れ
 リーダー 涌井 良明
 参加者 福島政幸、涌井良明、石附智江、伊藤久雄、瀧澤きよの、石附恵理子、渡邊悦子 計7名
 費用 東武線2,400円(浅草起算)
 1,520円、400円 計4,320円
 タイム 浅草(7:10)新鹿沼(8:46)上粕尾・山ノ神ドライブイン(9:40~48)林道終点(11:23~23)像ノ鼻(12:28~13:00)昼食(横根山(13:38~43)方塞山(14:38~43)三枚石(15:00~05)古峰原(15:30)古峰神社(16:40~17:15)リ-新鹿沼(18:10~19:03反省会)

今年は暖冬のおりでどこでも花のシーズンが前倒しされているようで、古峰原付近のツツジも2週間ほど前に満開になり最盛期は逃したものの、歩きだしから終始様々なツツジに迎えられながらの鼻街道の趣で、18km以上の長丁場も苦にならない?歩きができた。

距離は長いものの、ほぼ関東ふれあいの道を辿るので緊張するような個所もないので、眺望も花も開放感いっぱいのもので、牧場風景などを楽しみながら歩けるので予想以上に良さがな行程だった。

まずはナガ〜イ林道の登りをじっと我慢、木漏れ日にもしっかりと汗をかかされる。

導標に従い山道に。関東ふれあいの道なのでしっかり整備はされてるが、歩く人は少ないようだ。木道や階段も付けられていて、アプローチがもう少し便利なら歩く人も増えるのではないかと



期待のツツジも現れるが既に地面を飾っている花びらも多い。沢沿いから離れて階段を登ると牧場の柵が通せんぼ。通り抜けパズルの解答を探して...

その先で開けた林道に出ると、一気に視界が開け、まずはツツと突き出た皇海山が印象的だ。

象に似た?岩が鎮座しているのその名がある展望台の象ノ鼻に着く。東から西側にかけての素晴らしい展望台である。



ここで初めて他のハイカーに遭遇する、気持ちの良い展望台で昼食にする。が、今日はまだまだ先は長いのだ。ここからは、ずっとツツジに彩られた道を歩くことになる。直ぐに井戸湿原へ



の分岐で左に下り、ツツジのトンネルを抜けて湿原に、ここは景色付きの異なな花模様を楽しませてくれた。湿原を半周して少し登って横根

山へ、証拠写真後は眼下に広がる前日光牧場の柵に沿って歩く、広々とした牧草地を横目に次の方塞山を目指す、この辺りも次々に現れる花のトンネルに感嘆しつつ歩く。柵から離れて100m程登ると無線施設のある方塞山だ。小さく登降して、大岩が重なる

三枚石に、金剛山奥ノ院の社もある。日光開山の勝道上人が座禅修行した所とあった。

古峰原までもう一息、下り気味に

なった道を辿り先程の奥ノ院の参道なのか2個の鳥居をくぐって、車の音が聞こえると古峰原峠に出た。

ゴールの古峰神社までは、旧道の山道を下ってから車道に合流してそのまま下ると昨年の禅頂行者道から下山口になり古峰神社に出て長い歩きも終了。

全員疲れも見せずに、蕎麦付きの反省会で盛り上がり山旅は完了です。

時期はやや遅かったが、終始次から次へと様々なツツジの朱に迎えられ、その割にハイカーの姿も少なく、その歩きは快適な楽しいものだった。

オ・ツ・カ・レ・サ・マ

(記&写真・涌井 良明)

